

Governor's Monthly Letter

2025

2

February

ガバナー月信

vol.8

Rotary
第2670地区

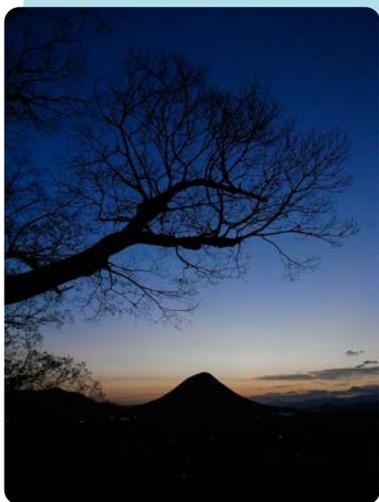


インパクトをもたらそう
青少年に夢を

Rotary International District 2670

2024-2025 Governor Office | Marugame-City, Kagawa Pref.

国際ロータリー 第2670地区 2024-2025年度 ガバナー 夏見 良宏



2月号

今月の表紙

丸亀城から
夜明け前の飯野山を望む

「稲むしろあり 飯の山あり 昔今」という句碑が見返り坂を上ったところにある。

昭和24年秋、丸亀城を訪れた高浜虚子が丸亀平野をへだてて飯野山をながめて詠んだものだ。

令和の現在、日々の糧を得る手段は「お勤めにてる」ことが圧倒的な主流となり、ここから見える景色も長閑な田畑のひろがりではなくモダンな住宅街に様変わりしてしまった。

しかしランドマークとしての飯野山は(そして丸亀城もまた)昔も今もかわらない姿をみせているのである。

(月信担当幹事 塩田 等)

Contents

ガバナーあいさつ	ガバナー 夏見 良宏	3
方針への新たな変更について		5
公共イメージニュース	ロータリー公共イメージ推進のためのアイデア	8
[地区だより] 第45回	ロータリー青少年指導者養成セミナー(RYLAセミナー)へのお誘い	10
[地区だより] 長期交換事業	第2回 受入学生オリエンテーション 2025-2026年度 第1回 派遣予定学生オリエンテーション	14
[地区だより] 短期交換事業	2025-2026年度 青少年短期交換プログラム 募集要項	16
[地区だより] 2025-2026年度 第1回	ガバナー補佐研修会	17
ガバナー公式訪問報告	高知北RC/丸亀RC	18
12月度 出席報告		19
受賞者一覧・物故会員		20

Governor's Message

平和の推進



国際ロータリー第2670地区 2024-2025年度 ガバナー 夏見 良宏 (丸亀RC)

大寒も過ぎいよいよ本格的な寒さがやってきました。会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2月23日～3月1日は世界理解と平和週間(World Understanding and Peace Week)です。国際ロータリーはロータリーの創立記念日でもある2月23日を「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)として、国際理解、友情、平和への献身をロータリアンに呼びかけ久遠の平和のための活動に取り組んできました。

しかし、2022年2月24日、ロシアによるウクライナへの侵攻が始まりました。今、世界は第二次世界大戦終結以来の、記録的な数の紛争や危機に直面しています。(現在56の紛争が起こっており、国境外の紛争に関与している国は92ヵ国)特に、ウクライナやガザでの戦闘は、深刻な人道危機を引き起こし、周辺地域を超え様々な影響を世界各地に及ぼしています。

ウクライナハルキウ州では氷点下で50万人が暖房も電気もない中で暮らしています。(ロイター通信)また、人口3,500万人の内、1,080万人(人口の3割)が今も避難民です。(国内約400万人、国外約680万人 UNHCR)

ガザ地区では建物の69%が全壊・損傷しており、避難民は190万人(人口の9割)です。

ユニセフの発表では、紛争地域で暮らす子ども

は4億7,300万人を超えており、これは、世界の子どもの6人に1人以上で、2024年は紛争の影響を受けた子どもの数と生活への影響という両面でユニセフ史上最悪です。

先日、駐日ポーランド共和国パヴェウ・ミレフスキ大使の「平和について」の講演を聞く機会がありました。

「ポーランドは戦争勃発の直後から政治、人道、財政、軍事の多角的な支援をウクライナに対して実施してきました。ポーランドは第2次世界大戦でソビエトに占領された歴史などからロシアに対する警戒感が強く、ウクライナへの支援を積極的に行ってきました。

現在も約100万人のウクライナ避難民がポーランドに滞在し、その大半を女性と子供が占めています。戦争勃発から1ヶ月後には、ポーランドは「ウクライナ領土内における武力紛争に係るウクライナ国民支援法」を可決し、ウクライナ避難民の滞在を法制化しました。

ポーランド人の約8割がウクライナ避難民の支援活動に参加し、募金活動、ポーランド・ウクライナ国境におけるボランティア活動をしています。今も多くのポーランド人の自宅にウクライナ避難民を「客」として受け入れており、そのためポーランドにはウクライナ避難民用の難民キャンプは一つも存在していません。」

ロシアの侵攻開始後のウクライナ民間人の死者1万2,340人、負傷者は2万7,836人。又、ウクライナ軍兵士の死者数4万3000人以上、ロシア軍兵士の死者数7万8,000人以上と報告されています。又、国際移住機関(IOM)によると、ウクライナ全土で410万人近くの避難民がいると推定されています。

(国連安全保障理事会報告)

ロータリー平和センター

ロータリーは、世界中の地域社会で持続可能かつ測定可能な活動を通じて、平和を構築・維持できる環境を実現することを目指しています。その具体的な活動の一つがロータリー平和センターです。

ロータリー平和センターは、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築くことを目的としたセンターです。世界6カ国7大学院にセンターが置かれており、地域社会や世界を舞台に平和を推進するリーダーを養成しています。2002年にロータリー平和フェロー第一期生の教育課程がスタートし、現在、115カ国から1,500人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業しています。(ロータリー平和フェローは、世界各地で協力と平和を推進し、紛争解決に貢献するリーダーです。争いのない世界をめざして行動するための知識と行動力を備えた人がフェローとして選ばれます。)

提携大学

- 国際基督教大学
- デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校(アメリカ、ノースカロライナ州)
- ブラッドフォード大学(イギリス、ブラッドフォード)
- クイーンズランド大学(オーストラリア、ブリスベン)
- ウプサラ大学(スウェーデン、ウプサラ)
- マケレレ大学(ウガンダ、カンパラ)

2024年のノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協=日本原水爆被害者団体協議会が受賞しました。

授賞式で演説を行った代表委員の田中熙巳さんは「核兵器をなくしていくためにどうしたらいいか、世界中のみなさんと共に話し合い、求めていただきたい」そして、「人類が核兵器で自滅することのないように。そして、核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょう。」と訴えました。

ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。そして、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

「平和を実現する人々は、幸いである」 マタイによる福音書5章9節



方針への新たな変更について

RI理事会は最近、ロータリーとローターアクトの会員基盤を強化、拡大するために、いくつかの重要な決定を行いました。目標は2030年のロータリー創立125周年までに、ロータリアン数を125万人、ローターアクター数を12万5,000人に増やすことです。

この目標を達成するために、理事会はいくつかの変更を行いました。

- **ガバナー補佐**：ガバナー補佐は今後、地区会員増強委員会および地区ローターアクト代表と協力し、新しいタイプのクラブの結成、組織化、設立、支援を推進していきます。
- **地区ローターアクト代表**：ガバナー補佐の役割とさらに密に一致させるため、地区ローターアクト代表の役割と責務が強化されました。
- **ローターアクト委員会**：地区がローターアクトを強化、発展させるための柔軟性を高められるよう、委員長の役割と資格が更新されました。
- **ローターアクトの目的**：理事会は、ローターアクトが若いリーダーたちに比類ないリーダーシップ能力開発の機会を提供していること、また、ローターアクトを経た若いリーダーにロータリークラブへの入会を奨励することをロータリーが目標としていることを確認しました。クラブは、35歳未満の会員の会費を減額または免除し、入会への障害を取り除くことが奨励されています。

これらの決定事項をクラブと共有し、地区リーダーと協力して目標達成を目指しましょう。ロータリーが今後も人びとをつなぎ、地域社会を変革し、持続可能な変化を生み出し続けることができるよう、ご協力をお願い申し上げます。

ご質問がありましたら、[cgs@rotary.org](mailto:cds@rotary.org) までご連絡ください。

何とぞよろしく願いいたします。

ノラ・ゼイ

会員の参加者の体験最高責任者

2024年10月RI理事会会合後の方針変更

地区ローターアクト代表の役割と責務

ロータリー章典は、次のように改正されました。

12.080.2. 地区ローターアクト代表

1. 二つまたはそれ以上のローターアクトクラブを有する地区は、その会員の中から地区ローターアクト代表1名を選挙しなければならない。選挙の方法は、選挙に先立ち、ローターアクト会員によって決定され、地区ローターアクト委員会によって審議され、地区ガバナーによって承認されるものとする。地区ローターアクト代表は、就任までに、ローターアクトクラブ会長または地区ローターアクト委員会委員として1任期を満了していなければならない。
2. 地区内に一つしかローターアクトクラブがない場合、地区ローターアクト代表は、就任が可能な最も新しい元ローターアクトクラブ会長が務めるものとする。
3. 地区ローターアクト代表は、ロータリーガバナーの指導と助言を受け、地区ローターアクト委員会および他の適切なロータリー地区委員会と協力すべきである。 ローターアクト委員会のない地区では、地区ローターアクト代表が、ロータリー章典第17.030.14項に記載されている通り、委員会の責務を担う。
4. 地区ローターアクト代表は、他の地区リーダーと協力して、以下を行うべきである。
 - a. 地区ローターアクトニュースレターを作成、配信する。
 - ab. 地区ラーニング委員会と協力し、地区内のローターアクトクラブ役員のためのラーニングセッションを含む、リーダーシップ育成のためのラーニング行事を支援、実施する。
 - be. 目標の設定と達成、対立の解消、地区／RIの運営的要件の遵守などにおいて、ローターアクトクラブを支援する。
 - cd. 新しいローターアクトクラブの結成を援助し、会員増強を推進する。地区全域でローターアクトの推進と拡大活動を実施する。
 - de. ガバナーにローターアクトクラブの進捗状況

と状況を報告する。奉仕活動を計画、実施する（地区内のローターアクトクラブの4分の3の承認を得た場合）。

- ef. ローターアクトクラブがプロジェクトを実施する際、助言と援助を提供する。
 - f. 地区におけるロータリーとローターアクトの合同活動を調整する。
 - fg. ロータリーの取り組みについて常に最新情報を把握する。地区レベルにおけるローターアクトの広報活動を手配する。
 - gh. ローターアクトクラブの状況を後任者に伝える。地区内のローターアクトクラブ役員のラーニングセッションを計画し、実施する。
 - i. 新しいローターアクトクラブの設立を援助する。
5. 選挙に関するすべての論争は、地区の方針に基づいて、地区ローターアクト委員長と相談の上、地区ガバナーにより地区内で解決するものとする。RIは介入しない。

地区ローターアクト委員会の役割

ロータリー章典は、次のように改正されました。

17.030.2.14. ローターアクト委員会

1. 目的：同人数のロータリアンとローターアクターによって構成される、地区ローターアクト委員会は、地区内のローターアクトクラブを支援する。
2. 委員のその他の資格：地区ローターアクト代表は、本委員会の委員でなければならない。クラブレベルでローターアクト、ローターアクト学友、およびローターアクト会員に関する経験を有する、リーダーとしての素質を備えた個人を優先すべきである。可能かつ実用的である場合は、1名ないし数名の委員を再任することにより、委員の継続性を保つよう規定すべきである。
3. 任務および責務
 - a. ロータリークラブとローターアクトクラブの合同活動を含め、ローターアクトに関する地区全体の活動で協力する。

- b. ガバナー補佐や各クラブと定期的に連絡を取りながら、関与を奨励する。
 - c. ローターアクトの参加者を行事に招いてプログラムの体験談を紹介してもらい、奉仕活動での協力し、指導力および専門能力開発の合同ラーニング行事に出席することにより、ローターアクトを推進する。
 - d. ローターアクトクラブの新規結成を支援する。
 - e. ローターアクトクラブ役員および顧問にラーニングの機会と支援を提供する。
 - f. ローターアクト活動から個人的な金銭的利益を受けることのないよう細心の注意を払いながら、予算を作成し、ガバナーおよび地区財務委員会に提出して承認を受ける。
 - fg. 地区内のローターアクトクラブのその他の管理運営を監督する。
4. 委員長の任命：地区ローターアクト委員長は、ガバナーにより任命された(ロータリアン)であり、地区ローターアクト代表である場合もある。地区ローターアクト委員会に関して、地区ローターアクト代表が委員長として任命されることが推奨されており、地区内のローターアクトクラブにより選出された地区ローターアクト代表(ローターアクト)が、この委員会の共同委員長を務めるべきである。地区は、委員会のすべての委員およびガバナーエレクトとガバナーノミニと相談の上、経験豊富な委員の知識を活かし、委員会内でリーダーを育成するためリーダーの引継ぎ計画を用いることが強く推奨される。引継ぎ計画には、次期委員長が重要な手続きや方針を学ぶために前任委員長との重複期間も設けるべきである。

ロータリアンとなるローターアクト

決定：理事会は、

1. ローターアクトの目標が若いリーダーたちに比類ないリーダーシップ能力開発の機会を提供すること、また、ロータリーは、ローターアクトを経験した若いリーダーにロータリークラブへの入会を奨励することを目標としていることに同意した。
2. クラブが以下の通り、現行の方針を実践するよう奨励する。

5.010.3.若年層の会員

クラブは、会員資格を備えた元ローターアクトやその他の若年層の会員候補者を探し出すべきである。クラブは、善良なる人格、高潔さ、リーダーシップを示し、事業、専門職務、職業、および/または地域社会において良い評判を得ており、地域社会と世界に奉仕する意欲のある若い人びとが入会への関心を高める方法を見出すべきである。

クラブは、年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除することができる。さらに、クラブはこの年齢層の新会員のために地区会費を負担することができ、また地区は、地区協議会あるいは地区大会での決定により、この年齢層の新会員の地区人頭賦課金を減額することができる。

3. すべての地域および地区の会員増強計画に、ロータリークラブ会員となることを希望するすべてのローターアクトに従来型クラブまたは新しいクラブモデルを通じて会員となる機会を提供するための、地域に適した方策を盛り込むことを奨励する。

ONE ROTARY CENTER
1560 SHERMAN AVENUE
EVANSTON, ILLINOIS 60201-3698 USA
ROTARY.ORG



公共イメージニュース

ロータリー公共イメージ推進のためのアイデア

2025年1月

ロータリーの公共イメージ向上に力を注ぐ

ロータリーのリーダーである皆さまは、ロータリーがどのような団体であり、「世界を変える行動人」としてどのように変化をもたらしているかを人びとに伝えることの大切さを理解しておられると思います。クラブの活動とそのインパクトを広く伝えることで、会員、ボランティア、支援者の関心を高める

ことができます。今回の公共イメージニュースでは、クラブやロータリーの推進に役立つブランドリソースセンターの各種動画についてご紹介します。公共イメージ向上とロータリーブランドの強化にご尽力いただき、ありがとうございます。

——各種動画をロータリーの推進にご活用ください——

「あきらめない」：ポリオ根絶に向けた懸命な努力

ブランドリソースセンターからダウンロード可能な新しい動画「あきらめない」は、ポリオ根絶に向けたロータリーの懸命な努力のストーリーを伝えています。ロータリーは40年以上前にこの取り組みを開始し、以来、休止することなく活動を続けてきました。会員はこれまでに27億米ドル以上を寄付し、数え切れないほどのボランティア活動を行ってきました。この動画をウェブサイトやソーシャルメディアでシェアし、ロータリーの活動とその可能性を地域の人びとに示しましょう。



動画「あきらめない」





ロータリー
国際大会

2025年6月21日～25日 カルガリー (カナダ)
ご登録: convention.rotary.org




オンライン登録





具体的なデータを示してストーリーを伝える

プロジェクトのインパクトや成果を示すデータは、クラブと地区が地域社会にもたらした好ましい変化を実証し、ロータリーへの関心や参加を促すうえで重要な役割を果たします。写真、動画、インフォグラフィックといった形でデータを紹介することで、他団体との新しい協力関係や資金調達之机を生ま出し、入会を促進し、コミュニティとの絆を深めることができます。プロジェクトのインパクトを示す適切なデータを収集する方法を、新しいロータリー インパクト ハンドブックでご覧ください。



「インパクト ハンドブック」をダウンロード →



ロータリー・グローバルメディア・ネットワーク

ロータリー・グローバルメディア・ネットワークには、34の雑誌(『Rotary』誌および認可された33の地域雑誌、日本では『ロータリーの友』誌)があることをご存じですか。質の高いこれらの雑誌は合計で130カ国以上、26の言語で発行されており、世界のどこにいてもロータリーやその他の情報について学ぶことができるだけでなく、ロータリーの活動に関心のある人に配布できる優れた広報手段ともなります。



ロータリーの雑誌について →



ブランドリソースセンターをどのように利用していますか？

クラブ、地区、イベント、プロジェクトを推進するために、ブランドリソースセンターにあるツールやリソース、情報をどのように利用していますか。こちらの短いアンケートでお知らせください。

クラブ推進に役立つツールをブランドリソースセンターからご利用ください。今すぐはじめよう



地区だより

Rotary
District 2670 & 2680

rotary youth
leadership
awards



第45回 ロータリー青少年指導者養成セミナー (RYLAセミナー)へのお誘い

みんなで参加しよう～RYLA 未知なる出会いを求めて

RYLA（ライラ）はロータリーが行なう青少年指導者養成セミナーのことです。このプログラムは短期集中型で行い、参加者が新しいスキルを学びながら社会と関わり個人的、職業的に成長できる機会となります。世界は多くの若いリーダーを求めています。このセミナーに参加して、リーダーシップのスキルを磨き、生涯にわたる奉仕の精神を養い、地域社会、国際社会に貢献できる存在になりましょう。

本年度、第45回のRYLA（ライラ）は風光明媚な小豆島の「ふるさと村」にて開催いたします。新しい良い仲間との出会いの機会、自然とのふれあいの中から自己を再発見する機会、奉仕の精神をもったロータリーのメンバーとの交流、様々な未知の体験が訪れる時間等、RYLA（ライラ）の体験は素晴らしい明日の糧となります。大きく豊かな心を育むRYLAへ～ロータリーは皆さんを歓迎します。
“みんなで参加しよう RYLA 未知なる出会いを求めて”

国際ロータリー第2670地区ガバナー 夏見 良宏
国際ロータリー第2680地区ガバナー 矢坂 誠徳



RYLAは、1959年5月にオーストラリア・クイーンズランド州で発祥し、1971年に国際ロータリーによって正式に採用されたプログラムで、現在では、ロータリーのプログラムの中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの一つとなっています。国際ロータリーの理事会は、以下を盛り込んだコアカリキュラム(中核となる科目)を推奨しています。

- リーダーシップの基本
- 良きリーダーの倫理
- 効果的なリーダーシップにおけるコミュニケーション(伝導力)の重要性
- 問題解決と対立管理
- ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会のために何を行っているか
- 自信と自尊心を培うこと
- 地域市民と世界市民となるための要素

主催 国際ロータリー第2670地区・2680地区

募集要項

- 日時： 2025年3月20日（木・祝）14時現地集合～3月23日（日）13時現地解散
- 場所：国民宿舎小豆島
香川県小豆郡小豆島町池田 1500-4 TEL 0879-75-1115
- 参加資格：
国際ロータリー第2670地区（四国4県）、第2680地区（兵庫県）のロータリークラブから推薦を受けた満20歳以上（2025年3月19日現在）の青年
※但し、全期間受講可能なことが必須です。なお、本セミナーの受講は計2回までとします。
※長時間の活動のため、体調上気がかりな方はお申し出ください。
- 集合： 3月20日（木・祝） 14時現地 ※昼食は済ませて集合してください。
- 解散： 3月23日（日）13時現地
- 参加費： 受講生 50,000円
（ロータリークラブが負担しますので、受講生の負担はありません。交通費は受講生が負担してください。）
ロータリアン：登録料5,000円の他に1泊につき15,000円もしくは日帰り10,000円を加算
- 申込方法：
1 推薦ロータリークラブが見つからない場合は、当委員会がサポート・ロータリークラブを決定し、参加要綱とともにお知らせいたします。
2 各ロータリークラブは2月28日（金）までに各地区事務所までお申し込みください。

国民宿舎小豆島



- 2680地区（兵庫県）受講生
例）岡山駅⇒マリンライナー
- 2670地区（四国）受講生
例）各地区



講演



せとうち観光専門短期大学
准教授 石床 渉 氏
(いしとこ わたる)

出身地 香川県小豆島

2022-2024
香川大学大学院 地域マネジメント研究科
1995-1997
神戸 YMCA 学院専門学校 ホテル学科

経歴：
1988年 公益財団法人神戸 YMCA 入社
余島野外活動センター、ホテル事業部マネージャー

2000年 マレーシア、香港のホテルにて営業部長、
料飲部マネージャー

2012年 一般社団法人小豆島観光協会 事務局長

2020年 せとうち観光専門職短期大学 開学準備室

2021年 せとうち観光専門職短期大学 准教授
(現在に至る)



株式会社 山田林業
代表取締役 山田 尚弘氏
(やまだ なおひろ)

1968年生まれ。大学卒業後、東京での企業勤務を経て兵庫県にUターン。生野町森林組合にて技術研修を受け、1995年より山田林業5代目として施業を開始。1996年より約17年にわたって大阪府指導林家・大橋慶三郎氏やその門下生のもと、安全で効率の高い山林管理に欠かせない作業路づくりの技術と森林経営を学ぶ。2010年に法人化。山林の戦略的な複合経営を通じ、持続可能な「なりわい」としての林業を確立すべく活動の幅を広げている。趣味はランニング・サイクリング。

日本林業経営者協会青年部理事
日本林業同友会理事
兵庫県林業協会副会長
兵庫県指導林家会副会長
林業技師
兵庫県知事認定指導林家



三木 明 氏
(姫路ロータリークラブ)

1975年 大阪歯科大学歯学部卒業
1980年 三木歯科診療所開設

1981年 姫路ロータリークラブ入会
1999-2000年度 姫路ロータリークラブ会長
2007-08年度 2680地区 ガバナー
2010-11/15-16年度 地区研修リーダー
2010-14年度 第3ゾーン・ロータリーコーディネーター補佐
2013-15年度 国際ロータリー研修リーダー
2013/2016年 規定審議会地区代表議員
2018-20年度 国際ロータリー理事
2020-21年度 ロータリー財団管理委員会特別アドバイザー
2021-25年度 インターナショナル・ポリオプラス委員
2021-25年度 ロータリー財団管理委員

アーチクランフソサエティ会員、
ロータリー-米山記念奨学会メジャードナー



大内 晋二 氏
(神戸須磨ロータリークラブ)

中央大学法学部法律学科卒

1989年 姫路市内で学習塾開業
小・中・高生の進学指導

1992年 有限会社有備館設立
代表取締役塾長就任 姫路市内に4教場
開設、中・高生の進学指導

1995年 播磨民間教育ネットワーク設立に発起人として
関与 2023年5月 役職を退く

2023年 有限会社有備館退職

姫路中央 RC、神戸須磨 RC にて会長、幹事、理事等

クラブ奉仕委員会委員長、規定審議委員会委員長
研修委員会 職業奉仕・倫理小委員会委員長、職業奉仕委員会委員
長など歴任

スケジュール

■プログラムのねらいと内容

RYLA セミナープログラムのねらいは、受講生に5つの特色を味わってもらうところにあります。

① 高いレベルの講義と討論 ②キャビンタイム（親睦とその熟成）③自由と自律 ④小豆島の自然 ⑤カウンセラーシステム

恵まれた自然のなかで、テーマに基づく講義・キャビンタイム・思索の時間・バスセッション・フォーラムなどを通じて、学び、語り合い、考えていただきたいと思ひます。

■スケジュール

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
3/20 (木・祝)									集合	開講式 講演講師	歓迎セッション 三木明氏	キャビン タイム	オープニングパーティー	キャビンタイム ロケリアのタバ				
3/21 (金)	朝食	カウンセラー ミーティング	講義-1 講師 石床渉氏	昼食	講義-2 講師 山田尚弘氏	思索の 時間	レクリエーション	夕食	バスセッション ロケリアのタバ									
3/22 (土)	朝食	カウンセラー ミーティング	バスセッション			昼食	バス 集約	フォーラム			グループ タイム	夕食	カウンセラー ファイア	キャビンタイム				
3/23 (日)	朝食	カウンセラー ミーティング	講義-3 講師 大内晋二氏	閉講式 学友会案内 感想文 記念撮影	昼食	解散												

RYLA 委員会

2680 地区

ガバナー 矢坂 誠徳 (神戸西)

■顧問

三木 明 (姫路) 安平 和彦 (姫路)
滝澤 功治 (神戸須磨) 丸尾 研一 (神戸西神)
安行 英文 (三田)

■青少年奉仕委員会

委員長 黒田 建一 (西宮イブニング)
副委員長 田中 賢一 (伊丹)
副委員長 白井 良夫 (伊丹)
副委員長 吉井久美子 (HYOGO ロータリークラブ)

■RYLA 小委員会

委員長 北川 博崇 (川西)
副委員長 藤井 秀樹 (尼崎東)
副委員長 酒井龍太郎 (尼崎西)
委員
吉村 健 (尼崎北) 野村 佳生 (尼崎東)
山口 英悟 (尼崎東) 荒木 健作 (川西)
山田 隆之 (宝塚) 永松 潔和 (神戸)
植田 晃行 (神戸西) 大内 晋二 (神戸須磨)
山下 展成 (神戸西神) 徳梅 明彦 (あわじ中央)
委員兼カウンセラー 西村 太志 (尼崎東)
委員兼カウンセラー 松原 弘幸 (三田)
委員兼カウンセラー 小林 雅美 (姫路中央)
カウンセラー 倉本 洋子 (RYLA 学友会)
RYLA 学友会会長 常次 浩継

2670 地区

ガバナー 夏見 良宏 (丸亀)

■顧問

前田 直俊 (坂出東)
桑原 征一 (新居浜)

■青少年奉仕委員会

委員長 荻田 智子 (高松北)

■RYLA 小委員会

委員長 米山 徹太 (松山)
委員 野村 栄一 (高知中央)
横井 裕恵 (東予)
大政 裕志 (伊予)
猪野 恵一郎 (松山南)
上甲 泰 (松山)
橋口 基城 (高松北)
福島 啓之 (坂出衛星)
委員兼カウンセラー 仁木 久智 (徳島北)
RYLA 学友会会長 大通 龍治 (坂出衛星)
カウンセラー 三浦 秀之 (松山南)
カウンセラー 野村 ゆかり
カウンセラー 藤重 克美

地区だより

国際奉仕委員会
長期交換小委員会
長期交換事業



第2回 受入学生オリエンテーション 2025-2026年度 第1回 派遣予定学生 オリエンテーション

国際奉仕委員会 長期交換小委員会 委員 林 達郎 (徳島RC)

2024年12月7日、8日 鳴門市(徳島)において「第2回 受入学生オリエンテーション・第1回 派遣予定学生オリエンテーション」および「第3回 長期交換委員会」が開催されました。篠田国際奉仕委員長、瀬野長期交換委員長、長期交換委員4名、筒井高知分区副カウンセラー、受入学生2名、派遣予定学生2名とROTEX3名が出席しました。

初日は、藍染め体験によるオリジナルのハンカチづくりからはじまりました。徳島県では古くから藍染めやその元となる藍染料「菘(すくも)」づくりが盛んで、徳島で作られた高品質な菘(すくも)は「阿波藍」とよばれてきました。そんな阿波藍について、生産から製造までの工程、繊維を染める化学的な仕組みや染模様を表現する手法の解説など充実した内容の講義を受け、学生がそれぞれ思い描くイメージ・個性を表現した作品が完成しました。



その後、鳴門海峡に架かる大鳴門橋の橋桁内(車道の下)に造られた海上遊歩道「渦の道」に向かいました。全長450m。網構造のフェンスからは潮風や波音をまるで屋外にいるかのように感じることができ、太平洋側も瀬戸内海側もどちらも望める雄大な景色はまさに絶景でした。展望室にはガラス張りの床があり、海上45メートルから世界三大潮流の鳴門の渦潮をのぞき込むことができました。初参加の派遣予定学生も含めて自然と交流が生まれる良いプログラムでした。



翌日は、前述のメンバーに派遣予定学生の保護者も加わり、「第2回 受入学生オリエンテーション・第1回 派遣予定学生オリエンテーション」が開催されました。まず、派遣予定学生の自己紹介から始まり、学校生活や地域での活動を通じて、各々の考え方、将来の夢や人となりに触れることができました。両名とも国際親善と国際理解の役割を立派に果たしてくれるだろうと期待が持てる内容でした。また、瀬野長期交換委員長から質疑応答を通じて、今後の自己紹介をする際に伝えるべきポイントなど丁寧な指導が行われました。

つづいて、Jack Oliver RADEMAKERの日本語による最終プレゼンテーションがありました。1年間に渡って、学校生活での体験や思い出に残る行事のことなどに加え、4軒のホストファミリーとの生活や貴重な経験を通じ、国際親善と国際理解の役割を果たしてきたことが、しっかりと伝わる内容となっていました。これから長期交換プログラムに臨む2名の派遣予定学生にとっての良い指針になることでしょう。

その後、瀬野長期交換委員長より、ロータリー全般に関するオリエンテーション、派遣予定学生から



Jack Oliver RADEMAKER

ROTEXへの質疑応答、現地での1日の生活スケジュールの紹介などが行われ、並行して長期交換委員会を実施しました。長期交換委員会では、中四国3地区で2月に行われる合同オリエンテーションおよび3月の合同研修旅行についての役割分担やスケジュールを中心に協議を行いました。

今回のオリエンテーションでは、この長期交換事業が国際親善と国際理解につながる重要なプログラムであることを再確認いたしました。その第一歩として、派遣予定学生が地元四国の理解を深めるためにも各県でのオリエンテーションが有意義であると感じた2日間になりました。



地区だより

国際奉仕委員会
長期交換小委員会
短期交換事業

2025-2026年度 青少年短期交換プログラム 募集要項

国際ロータリー第2670地区 2025-2026年度 篠田 日出海 (高松南RC)
国際奉仕委員会 委員長

国際ロータリー第2670地区 2025-2026年度 稲田 良吉 (高知中央RC)
国際奉仕委員会 短期交換小委員会 委員長

実施要項

交換相手地区	RI第7475地区 米国ニュージャージー州北部
期間	2025年7月31日(木)～8月21日(木) (予定)
団員構成	<ul style="list-style-type: none"> ●リーダー及びアシスタントリーダー……3名 ●チームメンバー……20名 ●合計(予定)……23名を上限とする

応募資格

- 第2670地区内に居住し、地区内RCより推薦された高校生(応募時・中学3年生も含む)であること。原則として各クラブ1名とする。また、高校生のロータリアンの子も参加可能である。
- 米国滞在中、感染症に罹患するなど、体調を崩した場合、スケジュール通り帰国できないこともある。
- 5月11日(日)のオリエンテーションの際に、地区指定の旅行保険に加入すること。

費用

	地区負担	クラブ負担	本人負担
リーダー及びアシスタントリーダー	全額	—	—
チームメンバー	不足額	10万円	30万円
ロータリアンの子	不足額	10万円	35万円

スケジュール

募集要項発送	2025年1月下旬 各RC宛
募集締切	3月10日(月)
応募提出先	ホストRCを通じて委員会支援事務所へ提出
提出書類	「推薦候補者申請書」と一緒に「申請者及び親権者の承諾書」「短期交換プログラム規則・同意書」を提出
選考会	3月29日(土) 於:高知市
推薦候補者決定	4月上旬
オリエンテーション	5月11日(日) 於:高知市
パスポート申請	6月中旬

(備考) アメリカ側短期交換青少年受け入れは6月下旬～を予定しています。

地区だより

2024
12/7
[SAT]

2025-2026年度 第1回 ガバナー補佐研修会

国際ロータリー第2670地区
2025-2026年度 地区代表幹事 **小笠原 光豊** (高知南RC)

去る令和6年12月7日(土)に高知市において2025-2026年度 第1回ガバナー補佐研修会が開催されました。

織田英正次年度ガバナーからは、「地域のロータリーを目指そう」というテーマのもと、地域を元気にし、その課題を見つけ解決策を探りながら明るい未来を夢見る人たちを見守り助けるロータリークラブを目指そうとのお話がありました。

次年度地区研修リーダーの東邦彦パストガバナーからは「地区運営について」というテーマでお話を頂くとともに、「危機管理」が地区運営に非常に重要になってきたことのお話がありました。そして、ガバナー補佐研修会の主旨は8名の親睦、そしてガバナーエレクトの意志の確認であると言われました。

また当日は大変お忙しい中、森雄司ガバナーノミニーにもご参加いただきご挨拶を頂きました。その後はRLI委員会の大屋聡規委員長から「RLI委員会」についての講話を頂き、次年度公共イメージ向上DEI委員会の戸田明委員長からは「公共イメージ向上とDEI」というテーマでお話を頂きました。



そして、次年度奉仕プロジェクト委員会国際奉仕短期交換小委員会の稲田良吉委員長からは、国際奉仕短期交換事業は活動スケジュールが早く、次年度に入る前から事業が始まることなどのお話がありました。そして事業の遂行にはガバナー補佐の協力が是非とも必要であることが述べられました。

最後にガバナー補佐に地区委員を兼務していただくことや、米山記念奨学委員会とロータリー財団委員会を各々担当いただくことも了解を頂きました。またガバナーエレクト事務所からいくつかお知らせをさせていただき、研修会を終了いたしました。



研修会終了後は懇親会が開催され、ガバナー補佐をはじめ研修会の参加者一同が交流を深め、お互いが打ち解けることができたかと思えます。

皆様には12月の第一土曜日という何かとお忙しい中、第1回ガバナー補佐研修会に参加ご協力を頂き誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

次年度に向けて今後とも何卒よろしくお願いを申し上げます。

ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
11/25
[MON]

高知北RC

三翠園

クラブ紹介 会長 西岡 正人 幹事 田岡 美加

高知北RCは、創立43周年を迎え、地域社会と国際社会への貢献を目指して活動を続ける伝統あるクラブです。現在会員数36名で会員増強を目指します。又幅広い職業や専門分野からのメンバーが集まっており、一業種一会員制を採用しています。これにより各分野の専門知識や経験が共有され、多様な視点からの活動が展開されています。また、会員同士の連携や親睦を深め、出席率向上にも力を入れており、より一層活発なクラブ運営を目指しています。



随行者コメント

会員数が正会員34名、設立後43年の中規模クラブでした。会長幹事会では西岡正人会長、田岡美香幹事による丁寧なクラブ説明があり安心して聞くことができました。高知北RCのテーマは「クラブ内の絆と成長」でクラブ運営の最も大切なことをテーマに挙げられていて感心しました。例会上に移動すると会員数34名に思えない多くの会員が出席していました。聞くと例会出席率を重んじているとのこと。なかなかできないことができてことに感銘を受けました。例会に掛水バスターガバナーが出席されているではありませんか！久しぶりにお会いして大変うれしく思いました。若い方も多いのでこれからも高知北RCが活躍してほしいと思っています。(天野 博司)

2025
1/16
[THU]

丸亀RC

丸亀プラザビル5階

クラブ紹介 会長 天野 博司 幹事 藤井 紀子

丸亀RCは1963年に創立した歴史あるクラブです。とりわけ今年度は、夏見良宏ガバナー輩出クラブとして、地区大会の成功等、ガバナー体制のバックアップに努めています。会員総数は、47名(うち女性会員は3名)です。会員数の確保をはじめとして、クラブが現在および今後抱える諸問題に対応できるように、中期計画委員会をプロジェクトチームとして設置し、変化に対応できるように準備しています。



随行者コメント

令和7年1月16日プラザビル5階で行われました。月初通常例会でした。例会次第により会が行われました。会食の後ガバナー補佐がIMのPRを行った後、夏見ガバナーの卓話がありました。いろいろな情報とともに地域、クラブの状況を示され、本年の活動の根幹である青少年に夢につながる活動が必要であることを話されました。引き締まった例会と笑顔あふれる集合写真撮影をもって本年度のガバナー公式訪問が終了しました。(國時 忠能)



12月度 出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区 7RC	安芸	76.36	20	0	2	3
	中芸	96.77	11	-1	0	3
	香長	93.75	10	-1	0	3
	高知中央	72.50	47	1	1	3
	高知東	100.00	54	-2	6	3
	高知南	84.45	87	3	13	3
	高知ロイヤル	90.79	22	0	3	4
高知第Ⅱ分区 8RC	高知	84.06	86	1	10	4
	高知西	83.89	74	2	3	3
	高知北	80.62	36	2	3	4
	中村	85.71	59	0	7	3
	四万十	68.18	10	-2	1	4
	仁淀	80.77	13	-1	2	2
	宿毛	57.14	29	0	2	3
須崎	68.75	16	1	0	2	

分区	クラブ名	出席率 (%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区 9RC	今治	100.00	49	0	2	3
	今治北	95.00	21	0	1	4
	今治南	100.00	66	2	0	4
	伊予三島	92.71	33	0	1	3
	川之江	94.68	46	0	0	4
	新居浜	100.00	68	0	2	4
	新居浜南	79.59	18	0	3	3
愛媛第Ⅱ分区 10RC	西条	100.00	28	1	1	3
	東予	99.06	28	1	2	4
	伊予	88.28	32	2	1	4
	道後	76.27	30	0	1	2
	松山	67.16	72	6	7	4
	松山東	79.55	24	2	0	4
	松山北	91.57	28	-1	2	3
	松山南	88.89	50	-1	5	3
	松山西	76.79	21	0	2	3
	大洲	77.38	29	0	2	3
宇和島	81.48	18	0	2	3	
八幡浜	81.67	22	1	1	3	

分区	クラブ名	出席率 (%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区 10RC	徳島	88.95	80	3	4	4
	徳島東	73.33	53	0	2	3
	徳島北	79.83	29	-1	7	4
	徳島プリンス	88.67	72	2	11	3
	阿南	62.24	51	1	3	4
	阿南南	82.39	46	0	0	4
	小松島	80.88	17	0	0	4
	小松島南	55.26	18	1	0	4
	阿南中央	54.76	17	0	3	3
	徳島眉山	80.00	10	-1	1	4
徳島第Ⅱ分区 11RC	阿波池田	69.51	41	0	1	4
	御所	82.69	27	0	5	4
	鴨島	100.00	46	1	5	3
	鳴門	55.15	48	2	5	4
	鳴門中央	73.64	34	-1	2	4
	徳島中央	72.22	26	-1	5	4
	徳島南	69.30	38	2	3	3
	徳島西	79.41	35	1	4	3
	脇町	78.38	37	-1	2	4
	阿波徳島	45.83	16	-1	1	3
美馬	63.46	26	0	4	4	

分区	クラブ名	出席率 (%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区 10RC	さぬき	58.33	17	0	0	3
	東かがわ	97.00	25	0	3	4
	小豆島	94.38	31	-1	2	3
	高松	100.00	82	-1	9	3
	高松中央	85.57	34	2	0	3
	高松グリーン	87.31	35	0	4	4
	高松東	100.00	49	2	5	3
	高松北	82.89	80	-1	7	4
	高松西	73.39	39	3	2	3
	高松南	68.83	60	2	3	3
香川第Ⅱ分区 8RC	観音寺	93.02	42	-3	4	3
	観音寺東	90.00	25	-2	2	4
	琴平	86.05	11	2	0	4
	丸亀	69.70	47	-1	3	3
	丸亀東	57.74	41	-2	3	4
	坂出	94.59	38	0	1	3
坂出東	93.06	67	0	10	3	
善通寺	88.07	39	3	0	3	

	出席率 (%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数
73RC合計	81.50	2,786	26	214

受賞者一覧

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



徳善 由安
阿波池田RC



藤本 邦人
高松グリーンRC



石井 聖剛
高松グリーンRC



伊藤 司朗
高松グリーンRC

ポール・ハリス・フェロー



山下 龍祐
高知東RC

ポール・ハリス・フェロー



池上 晴英
高松西RC



岩村 浩司
高松グリーンRC



川田 泰雄
高松北RC



黒田 史郎
高松北RC



増田 慎吾
高松北RC

マルチプル米山功労者

マルチプル米山功労者



永野 公隆
高松北RC



萩田 智子
高松北RC



島谷 隆
高松西RC



三野 克也
高松北RC



岡田 和幸
高松西RC

米山功労者

物故会員



ご冥福をお祈り
申し上げます

福島 清三
高知RC

2025年1月5日ご逝去
享年90歳

Information

ガバナー事務所から情報配信いたします

是非、ご登録いただきますようお願いいたします。



公式サイト



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。
ガバナー事務所のHPで月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。



<https://www.rid2670.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。
日頃の奉仕活動等をご下記へお送りください。

宛先



monthly2425@rid2670.jp

締切

毎月15日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

受賞者紹介について

所定のExcelファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

Rotary
第2670地区



国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info2425@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：和泉 清憲 / 担当幹事：塩田 等

〒763-0024 香川県丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F TEL : 0877-35-8382(080-2553-7208) FAX : 050-3171-2778